

雄武町人事行政の運営等の状況について

本町の人事行政の運営等の状況について、その公平性と透明性を高めることを目的とした「雄武町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、次のとおり公表いたします。

1. 任免及び職員数に関する状況

(1) 新規採用者数（平成23年4月1日及び前年度）

①平成23年4月1日

職 種 区 分	試 験 採 用			選 考 採 用			合 計
	男性	女性	計	男性	女性	計	
一般行政職	0	0	0	3	2	5	5
看護保健職	0	0	0	0	1	1	1
福 祉 職	0	0	0	1	0	1	1

②平成22年度

職 種 区 分	試 験 採 用			選 考 採 用			合 計
	男性	女性	計	男性	女性	計	
一般行政職	0	0	0	5	0	5	5
看護保健職	0	0	0	0	2	2	2
福 祉 職	0	0	0	2	4	6	6
医療技術職	0	0	0	2	0	2	2

(2) 再任用の状況（平成23年4月1日）

再任用職員数	1
--------	---

(3) 退職者数（平成22年度）

区 分	男 性	女 性	計
定年退職	4	2	6
勸奨退職	0	0	0
そ の 他	0	2	2

(4) 部門別職員数の状況（平成23年4月1日）

部 門	区 分	職 員 数		対前年 増減数	増 減 理 由
		22年度	23年度		
一 般 行 政 部 門	議 会	2人	2人	0人	
	総 務	23人	23人	0人	
	税 務	4人	4人	0人	
	民 生	27人	28人	1人	民生一般部門欠員補充
	衛 生	8人	8人	0人	
	農林水産	9人	9人	0人	
	商 工	2人	2人	0人	
	土 木	8人	8人	0人	
小 計	83人	84人	1人		

部 門		区 分	職 員 数		対前年 増減数	増 減 理 由
			2 2 年 度	2 3 年 度		
政 部 門 特別行	教 育		1 0 人	1 0 人	0 人	
	小 計		1 0 人	1 0 人	0 人	
会 計 部 門 公 營 企 業 等	病 院		3 1 人	3 2 人	1 人	病院部門業務増
	水 道		4 人	3 人	△ 1 人	水道部門欠員不補充
	下 水 道		1 人	1 人	0 人	
	そ の 他		4 人	4 人	0 人	
	小 計		4 0 人	4 0 人	0 人	
合 計			1 3 3 人	1 3 4 人	1 人	

(注) 特別行政部門に教育長を含める。

(5) 定員適正化の状況

定員適正化計画の年次別進捗状況 (各年4月1日現在)

部 門		区 分	1 7 年	1 8 年	1 9 年	2 0 年	2 1 年	2 2 年	2 3 年
			一 般 行 政	減 員	—	5	4	1	4
	増 員	—	0	1	4	0	6	1	
	差 引	—	△ 5	△ 3	3	△ 4	3	1	
	職員数	8 9	8 4	8 1	8 4	8 0	8 3	8 4	
特 別 行 政	減 員	—	0	0	1	0	0	0	
	増 員	—	1	0	0	0	1	0	
	差 引	—	1	0	△ 1	0	1	0	
	職員数	9	1 0	1 0	9	9	1 0	1 0	
公 営 企 業	減 員	—	1	1	0	3	0	1	
	増 員	—	1	2	1	0	2	1	
	差 引	—	0	1	1	△ 3	2	0	
	職員数	3 9	3 9	4 0	4 1	3 8	4 0	4 0	
計	減 員	—	6	5	2	7	3	1	
	増 員	—	2	3	5	0	9	2	
	差 引	—	△ 4	△ 2	3	△ 7	6	1	
	職員数	1 3 7	1 3 3	1 3 1	1 3 4	1 2 7	1 3 3	1 3 4	

(注) 1 特別行政部門に教育長を含めている。

(6) 身体障がい者の任用状況 (平成23年6月1日現在)

任用職員数	2 人
-------	-----

(7) 女性職員の登用状況 (平成23年4月1日現在)

課 長 等	課長補佐等	係 長	主 査	係	計
1 人	0 人	4 人	1 7 人	3 3 人	5 5 人

2. 給与の状況

(1) 人件費の状況（平成22年度一般会計決算）

人 件 費	824,802千円
-------	-----------

(2) 職員給与費の状況（平成23年度一般会計予算）

職員数	給 与 費			
	給 料	職員手当等	期末・勤勉手当	計
98人	360,324千円	44,794千円	129,220千円	534,338千円

※ 職員数98人のうち、1人分の給料を介護保険事業特別会計において計上しているため、給料の職員数については97人となる。

(3) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況（平成23年4月1日現在）

職 種	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	41.0歳	318,243円	349,847円
税 務 職	40.9歳	314,231円	357,954円
看護保健職	39.3歳	303,990円	336,791円
医療技術職	41.3歳	306,193円	334,012円
福 祉 職	39.6歳	285,735円	294,489円
技能労務職	41.7歳	279,567円	293,623円

(4) 職員の初任給の状況（平成23年4月1日現在）

職 種	学 歴	初 任 給	2年後給料
一般行政職	大学卒	172,200円	184,200円
	高校卒	140,100円	148,500円
技能労務職	大学卒	155,700円	169,500円
	高校卒	131,200円	139,000円
福 祉 職	大学卒	172,200円	184,200円
看護保健職（保健師）	—	215,700円	227,400円
看護保健職（正看）	—	203,900円	214,300円
看護保健職（准看）	—	171,200円	185,700円
医療技術職	大学卒	197,600円	209,100円

(5) 職員の経験年数別、学歴別平均給料月額の状況（平成23年4月1日現在）

職 種	学 歴	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	—	—	—
	高校卒	—	256,800	319,260

※ 一般行政職の未記載箇所及び一般行政職以外の職種は各区分の該当者が3名以下のため、省略する。

(6) 一般行政職の級別職員数の状況 (平成23年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数
1級	事務補、技術補、主事補、技師補	12人
2級	主事、技師	9人
3級	主査	13人
4級	係長	22人
5級	課長補佐等、課長等	3人
6級	課長等	13人

(7) 昇給期間の短縮の状況 (平成22年度実績及び平成21年度実績)

区分		人数
平成22年度	職員数	133人
	普通昇給期間を短縮して昇給した職員数	13人
平成21年度	職員数	125人
	普通昇給期間を短縮して昇給した職員数	18人

(8) 職員手当の状況 (平成23年4月1日現在)

① 期末手当・勤勉手当

期 末 手 当 勤 勉 手 当	1人当たり平均支給額 (平成22年度)		
	1,290,673円		
	(平成22年度支給割合)		
		期末手当	勤勉手当
	6月期	1.25月分	0.70月分
12月期	1.35月分	0.65月分	
	計	2.60月分	1.35月分
	(加算措置の状況)		
	職務の級による加算措置 (役職加算)		

② 退職手当

退 職 手 当	(支給率)	
		自己都合 勸奨・定年
	勤続20年	23.50月分 30.55月分
	勤続25年	33.50月分 41.34月分
	勤続30年	41.50月分 50.70月分
	最高限度額	59.28月分 59.28月分
	その他加算措置	定年前早期退職特例措置
	1人当たりの平均支給額 (平成22年度)	
	16,909千円 (8人)	

③ 特殊勤務手当

支給実績 (平成22年度決算)	5,835,500円
支給職員1人当たりの平均支給年額 (平成22年度決算)	277,881円
職員全体に占める手当支給職員の割合 (平成22年度)	17.4%
手当の種類 (手当数)	5種類

④時間外勤務手当

支給実績（平成22年度決算）	5,408千円
支給職員1人当たりの平均支給年額（平成22年度決算）	56,332円
支給実績（平成21年度決算）	5,699千円
支給職員1人当たりの平均支給年額（平成21年度決算）	61,283円

⑤その他の手当

手 当 名	支給対象職員	支 給 単 価
扶 養 手 当	扶 養 親 族 を 有 す る 職 員	<ul style="list-style-type: none"> ・配 偶 者 13,000 円 ・配偶者以外 6,500 円 ※ 配偶者がいない場合は1人目 11,000 円 ・満15歳に達する日以後の最初の4月1日から満22歳に達する日以後の最初の3月31日までにある子1人につき5,000円加算
住 居 手 当	借家、借間居住者 及び世帯主自宅 所 有 者	<ul style="list-style-type: none"> ・借家、借間居住者 27,000円まで ・自宅所有者 取得後5年まで 10,000円
通 勤 手 当	交通機関利用者 自家用車使用者	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関利用者 運賃に応じ支給 ・自家用車使用者 距離に応じ、2,000～16,100円
管 理 職 手 当	管 理 職	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ給料月額に下記の割合を乗じる 課長等 100分の9 課長補佐等 100分の7 病院長、医師 100分の13 看護師長、薬剤師 100分の9 看護師副師長、検査技師、放射線技師 100分の7

・上記支給実績及び1人当たりの平均支給年額（平成22年度決算）

手 当 名	支 給 実 績	支給職員1人当たり平均支給額
扶 養 手 当	12,777千円	236,611円
住 居 手 当	8,051千円	217,581円
通 勤 手 当	132千円	33,000円
管 理 職 手 当	7,997千円	420,908円

(9) 特別職の報酬等の状況 (平成23年4月1日現在)

区 分		給 料 ・ 報 酬 月 額 等	
給 料	町 長		786,000円
	副 町 長		629,000円
	教 育 長		565,000円
報 酬	議会議長		280,000円
	同副議長		220,000円
	同委員長		195,000円
	同 議 員		180,000円
期 末 手 当	町 長	(平成22年度支給割合)	3.85月分
	副 町 長		3.85月分
	教 育 長		3.85月分
	議会議長		3.10月分
	同副議長		3.10月分
	同委員長		3.10月分
	同 議 員		3.10月分
退 職 手 当	町 長	(算定方式)	(支給時期)
	副 町 長	12月につき 5.126月分	任期終了毎
	教 育 長	12月につき 3.234月分	〃 (通算有)
		12月につき 2.838月分	〃 (通算有)

3. 勤務時間その他の勤務条件状況

(1) 一般職員の勤務時間の状況 (平成23年4月1日現在)

1週間の勤務時間	開始時刻	終了時刻	休息时间	休 憩 時 間
38時間45分	8時30分	17時15分	な し	12:00~13:00

(2) 休暇制度の概要 (平成23年4月1日)

休暇の種類	休暇を与える期間等	有給・無給の別
年次有給休暇	1年につき20日。残日数の20日を限度として翌年に繰り越すことができる。	有給
夏季休暇	7月から9月の期間内において連続する3日の範囲内。	有給
忌引の休暇	死亡した者の続柄に応じて、1日から7日の範囲内。	有給
法要の休暇	配偶者及び1親等の血族に限り1日。	有給
結婚の休暇	5日以内。	有給
配偶者の出産の休暇	2日以内。	有給
妊娠通院の休暇	妊娠23週まで4週間に1日。妊娠24週(第7月)から第9月末まで2週間に1日。10月から分べんまで1週間に1日。	有給
育児参加の休暇	職員の妻が出産する場合であってその出産予定日の6週間(多胎妊娠の場合にあつては、14週間)前の日から当該出産の日後8週間を経過する日までの期間にある場合において、当該出産に係る子又は小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員が、これらの子の養育のため勤務しないことが相当と認められるとき。当該期間内における5日の範囲内の期間。	有給
産前産後の休暇	分べん予定日前6週間(多胎妊娠の場合にあつては14週間)以内に出産する予定である女子職員が出産の日までに申し出た期間。出産の日の翌日から8週間を経過する日までの期間。	有給
育児の休暇	生後1年に達しない子を育てる職員がその子の保育のために必要と認められる授乳等を行う場合に1日2回それぞれ45分以内の期間。	有給
子の看護休暇	小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員が、その子の看護のため勤務しないことが相当であると認められる場合に、一の年において5日(その養育する小学校就学の始期に達するまでの子が2人以上の場合にあつては、10日)の範囲内の期間。	有給
骨髄移植休暇	職員が骨髄移植のための骨髄液の提供希望者としてその登録を実施する者に対して登録の申出を行い、又は骨髄移植のため配偶者、父母、子及び兄弟姉妹以外の者に骨髄液を提供する場合で、当該申出又は提供に伴い必要な検査、入院等のため勤務しないことがやむをえないと認められる場合必要と認められる期間。	有給
ボランティア休暇	職員が自発的に、かつ、報酬を得ないで社会に貢献する活動を行う場合で、その勤務しないことが相当であると認められるとき一の年において5日の範囲内の期間。	有給
病気休暇	療養のため勤務しないことがやむを得ないと認められる必要最小限度の期間。	有給
介護休暇	介護を必要とする一の継続する状態ごとに、連続する6月の期間内において必要と認められる期間。	無給
組合休暇	1年において30日の範囲内で、職員団体の業務又は活動に従事する期間。	無給

(3) 年次有給休暇の取得状況 (平成22年実績)

総付与日数	総使用日時数	対象職員数	平均取得日時数	取得率
4,634日	859日	119人	7.2日	18.5%

(4) 育児休業の取得状況 (平成22年度)

区 分	男 性	女 性	計
育児休業の承認件数	0件	3件	3件
育児休業期間延長の承認件数	0件	0件	0件

(5) 介護休暇の取得状況 (平成22年度)

区 分	男 性	女 性	計
介護休暇の承認件数	0件	0件	0件

4. 分限及び懲戒処分状況

(1) 分限処分者数 (平成22年度)

区 分	降 任	免 職	休 職	計
勤務実績が良くない場合	0	0	0	0
心身の故障の場合	0	0	0	0
職に必要な適格性を欠く場合	0	0	0	0
職制、定数の改廃、予算の減少により廃職、 過員を生じた場合	0	0	0	0
刑事事件に関し起訴された場合	0	0	0	0

(2) 懲戒処分者数 (平成22年度)

区 分	免 職	停 職	減 給	戒 告	計
法令に違反した場合	0	0	1	0	1
職務上の義務に違反し又は職務を怠った場 合	0	0	0	0	0
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行の あった場合	0	0	0	0	0

5. 服務の状況

(1) 職務専念義務免除の概要

- ・研修を受ける場合
 - ・厚生に関する計画の実施に参加する場合
 - ・上記のほか、任命権者が定める場合
- ①伝染病予防法（明治30年法律第36号）の規定による交通遮断又は隔離により、勤務が不可能となった場合
 - ②風、水、震、火災その他の非常災害による職員の現住居の滅失又は破壊の場合
 - ③風、水、震、火災その他の非常災害による交通遮断により勤務が不可能となった場合
 - ④交通機関の事故等の不可抗力の原因により勤務が不可能となった場合
 - ⑤裁判員、証人、鑑定人及び参考人として官公署の呼び出しに応ずる場合
 - ⑥選挙権、その他公民としての権利を行使し、義務を履行する場合
 - ⑦町の特別職としての職を兼ね、その職に関する事務を行う場合
 - ⑧職務に関連する国家公務員又は他の地方公共団体の公務員としての職を兼ね、その職に関する事務を行う場合
 - ⑨町の行政の運営上その地位を兼ねることが特に必要と認められる団体等の地位を兼ね、その地位に属する事務を行う場合
 - ⑩国又は地方公共団体の機関、学校その他の団体から委嘱を受け講演、講義を行う場合
 - ⑪職務上の教養を目的とする講習会、講演その他これらに類するものであって、国、道、町又はその他の地方公共団体、学校が行うものに参加する場合
 - ⑫職務遂行上必要な国又は地方公共団体の実施する競争試験その他の試験を受ける場合
 - ⑬地方公務員法(昭和25年法律第261号。以下「法」という。)第49条の2第1項の規定により不利益処分について不服の申立てをし、及びその審理に出頭する場合
 - ⑭法第55条第11項の規定による不満の表明又は意見の申出をする場合
 - ⑮前各号に掲げるもののほか、町長が特に認める場合

6. 研修及び勤務成績の評定の状況

(1) 研修の状況（平成22年度）

研修名	実施主体	期間	人数
指導能力研修	北海道市町村職員研修センター	2日	1
地方自治法研修	北海道市町村職員研修センター	2日	1
管理能力研修	北海道市町村職員研修センター	2日	1
税務事務研修	北海道市町村職員研修センター	2日	3
自治体経営改革と行政評価研修	北海道市町村職員研修センター	2日	1
地方公務員法研修	北海道市町村職員研修センター	2日	1
管内町村初級職員研修	オホーツク町村会	3日	11
初級職員研修	オホーツク町村会	3日	1
法務（基礎）研修	オホーツク町村会	1日	3
中級職員研修	オホーツク町村会	3日	3
監督者研修	オホーツク町村会	3日	1
資金調達政策セミナー	市町村職員中央研修所	2日	1

(2) 勤務成績の評定の状況 (平成22年度)

評定の回数	1回
評定の時期	10月
評定の対象人数	132人

7. 福利及び利益の保護の状況

(1) 健康管理事業の状況 (平成22年度)

区 分	受診職員数
健康診断	33人
総合健診(30歳以上隔年、40歳以上全職員)	61人

(2) 親睦会等への補助金(負担金)状況 (平成22年度)

区 分	金 額
役場親睦会補助金	0千円
病院互助会補助金	0千円
北海道市町村職員福祉協会負担金	380千円

(3) その他福利厚生事業の状況 (平成22年度)

事 業 内 容	職員数
雄武町職員永年勤続表彰	1人